

## 2015 年度 小委員会活動成果報告

(2016 年 1 月 31 日作成)

小委員会名	鋼構造座屈小委員会	主 査 名：井戸田秀樹 就任年月：2013 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (鋼構造運営委員会)	委員長名：緑川光正 主 査 名：多田元英
設 置 期 間	2013 年 4 月 ～ 2017 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>新たな設計概念の創出に対応できるよう、鋼構造物の設計を支配する安定・不安定問題を継続的に研究する。</p> <p>初年度：『鋼構造物の座屈に関する諸問題 2013』を再レビューし、『鋼構造座屈設計指針』改定に向けて検討すべきテーマの絞り込みを行う。</p> <p>2 年度：各テーマの再検討を実施し、委員会内での意見交換を行いながら修正、充実させる。</p> <p>3 年度：とりまとめた内容を大会 PD で公表し、内外の意見を問うとともに、改定原稿の執筆を行う。</p> <p>4 年度：改定原稿の査読、修正を実施し、出版に結びつける。</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：井戸田秀樹 (名古屋工業大学) 幹事：宇佐美徹 (竹中工務店) 委員：竹内 徹 (東京工業大学)、小崎 均 (日建ハウジングシステム)、五十嵐規矩夫 (東京工業大学)、荒木慶一 (京都大学)、津田恵吾 (北九州市立大学)、金尾伊織 (京都工芸繊維大学)、木村祥裕 (東北大学)、田川 浩 (広島大学)、藤本益美 (大阪市立大学)、倉田真宏 (京都大学)、松井良太 (東京工業大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	座屈崩壊型鋼構造部材の性能評価WG：部材の座屈性能評価の高度化を目指し、実験データの収集、データベースの作成、既存の性能評価式への適用を検討する。	
2015 年度予算	420,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： <a href="http://news-sv.aj.or.jp/kouzou/s39/">http://news-sv.aj.or.jp/kouzou/s39/</a>

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 昨年度の成果である『鋼構造座屈設計指針』改定に向けた方針に基づき、改定原稿の執筆を行った。 2. 第一次原稿を完成させ、小委員会内での査読とクロスチェックを実施した。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 第一次原稿執筆にあたって大会 PD 等で委員会外の意見を反映させる予定であったが、PD の開催には至っていない。そのため、今後の運営委員会査読、構造本委員会査読にて外部からの意見を十分に反映させる必要がある。 2. 第一次原稿執筆に各委員のエフォートが集中し、今年度設置した『座屈崩壊型鋼構造部材の性能評価WG』の成果がまだ十分に得られていない。残り年度内で集中的に活動を進め成果に結びつけることが本年度の課題である。